

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5 年 6 月 28 日

青森県知事 三村 申吾 殿

提出者

住 所 青森県上北郡おいらせ町松原一丁目73-1020

氏 名 日本クリーンファーム株式会社

代表取締役社長 吉原 洋明

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0178-52-4182

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、令和 4 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	東北事業所 下田・六戸農場
事 業 場 の 所 在 地	青森県上北郡おいらせ町鶴久保山 117-43
事 業 の 種 類	農業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	40,176.1t	全 处 理 委 託 量	1,526.1t
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	1,200.0t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,520.0t
自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	37,450.0t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A 列 4 番) -5.6.28



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 動物のふん尿)

不要物等発生量

有償物量

自ら直接再生利用した量
②

排出量
① 39,754t

項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理により減量した量	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
① 排出量	39,754t	④ 39,031.42t	⑥ 1,176t	⑦ 37,855.42t	⑩ 722.58t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	1,176t	④のうち熱回収を行った量			
⑤ 自ら熱回収を行った量		⑤			
⑦ 自ら中間処理により減量した量	37,855.4t				
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量					
⑩ 全処理委託量	722.6t				
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量					
⑫ 再生利用業者への処理委託量	722.6t				
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量					
⑭ 熱回収を行う業者への処理委託量					

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧ 1,176t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑨	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑩	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑪
③		⑥	⑦	⑧	⑫
④	④のうち熱回収を行った量	⑤	⑦	⑨	⑬
⑥	1,176t		37,855.42t		
⑦					
⑧					
⑨					
⑩	722.58t				
⑪					
⑫					
⑬					
⑭					

(第2回)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 家畜の死体)

不要物等発生
有償物量

自ら直接
再生利用した量

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

排出量
187.12t

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

項目	実績値											
① 排出量	187.12t	自ら中間処理した量	④	自ら中間処理した後 の残さ量	⑥	自ら中間処理によ り減量した量	⑦	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	187.12t	⑩	⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑫
②+⑧ 自ら再生利用を行った量		④のうち熱回収 を行った量	⑤								⑬のうち熟回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑭
⑤ 自ら熱回収を行った量												
⑦ 自ら中間処理により減 量した量												
③+⑨ 自ら埋立処分又 は海洋投入処分を行った量												
⑩ 全処理委託量	187.12t											
⑪ 優良認定処理業者への 処理委託量												
⑫ 再生利用業者への処理 委託量	187.12t											
⑬ 熟回収認定業者への処 理委託量												
⑭ 熟回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理 委託量												

)

(第 2 回)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)

2

量物賞有

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

排出量
2.31t

項目	実績値
① 排出量	2.31t
②十⑧ 自ら再生利用を行った量	
⑤ 自ら熱回収を行った量	
⑦ 自ら中間処理により減量した量	
③十⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑪ 全處理委託量	2.31t
⑪ 優良認定業者への処理委託量	
⑫ 再生利用業者への処理委託量	
⑬ 热回収認定業者への処理委託量	
⑭ 热回収を行う業者への処理委託量	

自ら中間処理した後
再生利用した量

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	(3)			
自ら中間処理 した量	(4)	自ら中間処理した 後の残さ量	(6)	⑨ 自ら中間処理した後 の処理委託量
④のうち熱回収 を行った量	(5)	自ら中間処理によ り減量した量	(7)	⑩ 直接及び自ら 中間処理した後 の処理委託量
				2.31t
				⑪ ⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量

④ 自ら中間処理した量	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	⑦ 自ら中間処理により減量した量	⑧ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑨ 自ら中間処理した量	⑩ ⑨のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑪ ⑩のうち熱回収を行った量	⑫ ⑪のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑬ ⑫のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭ ⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑮ ⑭のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑯ 自ら中間処理した量	⑰ 自ら中間処理により減量した量	2.31t									⑱ ⑯のうち熱回収認定業者への処理委託量

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

有償物量

不要物等発生量

排出量

① 0.68t

自ら直接 再生利用した量

自ら中間処理した後 再生利用した量

⑧

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量

③

項目	実績値
----	-----

0.68t

自ら中間処理 した量

④

自ら中間処理した 後の残さ量

⑨

自ら中間処理によ り減量した量

⑦

自ら熱回収を行った量

⑤

自ら中間処理により減 量した量

⑩

自ら埋立処分を行った量 又は海洋投入処分を行った量

③+⑨

全処理委託量

0.68t

優良認定処理業者への 処理委託量

⑪

再生利用業者への処 理委託量

⑫

熱回収認定業者への処 理委託量

⑬

熱回収を行う業者への処 理委託量

⑭

自ら中間処理した後 再生利用した量

⑧

(第2回)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)

有賞物量

不要物等発生量

自ら直接再生利用した量

自ら直接理立処分又は海洋投入処分した量

排出量 ① 0.61t

項目	実績値	備考
① 排出量	0.61t	
②+⑧ 自ら再生利用を行った量		
⑤ 自ら熱回収を行った量		
⑦ 自ら中間処理により減量した量		
③+⑨ 自ら埋立処分を行った量は海洋投入処分を行った量		
⑩ 全処理委託量	0.61t	
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量		
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.61t	
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量		
⑭ 熱回収を行う業者以外の熱回収を行った量		

自ら中間処理した後再生利用した量 ⑧

自ら中間処理した後業者への処理委託量 ⑪のうち再生利用率 業者への処理委託量 ⑫ 0.61t

自ら中間処理した後の残さ量 ④

自ら中間処理により減量した量 ⑦

自ら中間処理した後海洋投入処分した量 ⑨

自ら熱回収認定業者への処理委託量 ⑪のうち熟回収認定業者への処理委託量 ⑫ 0.61t

自ら熱回収認定業者以外の熟回収を行う業者への処理委託量 ⑪のうち熟回収認定業者以外の熟回収を行う業者への処理委託量 ⑫ 0.61t

(添 2 回)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

有償物量

不要物等発生量

自ら直接 再生利用した量

排出量

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量

項目	実績値
① 排出量	4.210t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	
⑤ 自ら熱回収を行った量	
⑦ 自ら中間処理により減量した量	
③+⑨ 自ら埋立処分を行った量 は海洋投入処分を行った量	
⑩ 全処理委託量	4.210t
⑪ 優良認定処理業者への 処理委託量	
⑫ 再生利用業者への処理 委託量	3.170t
⑬ 熱回収認定業者への処理 委託量	
⑭ 熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理 委託量	

自ら中間処理した後 再生利用した量

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量

自ら中間処理した 後の残さ量

自ら中間処理によ り減量した量

直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量

⑪のうち熟回収認定 業者への処理委託量

⑫のうち再生利用 業者への処理委託量

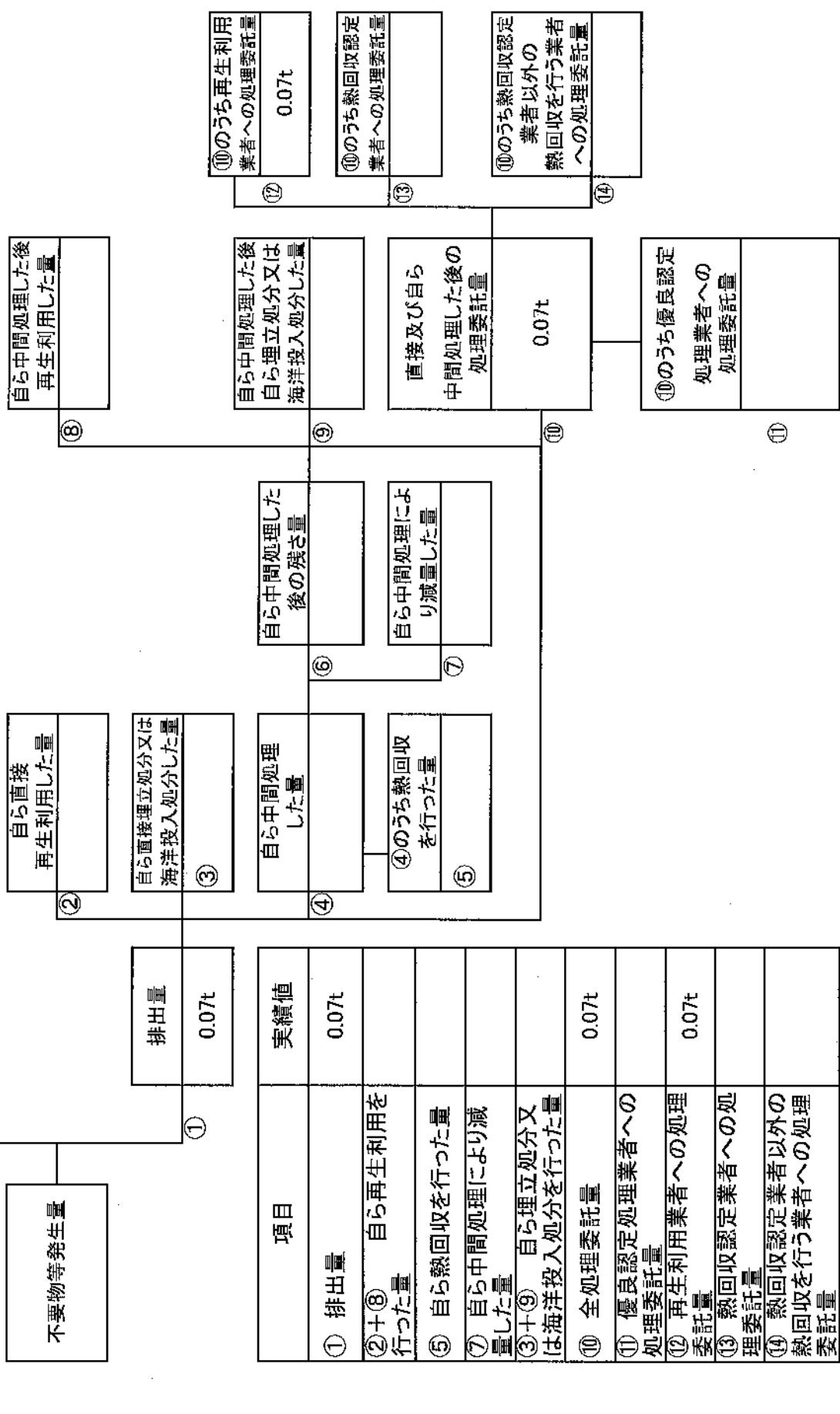
⑬のうち熱回収認定 業者への処理委託量

⑭のうち熟回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量

(添 2 図)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：混合廃棄物(廃プラ金属))



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

有償物量

不要物等発生量

自ら直接再生利用した量
②自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③排出量
① 1,245.66t自ら中間処理した後再生利用した量
⑧

項目 実績値

① 排出量
1,245.66t

項目

②+⑧ 自ら再生利用を行った量
⑤ 自ら熱回収を行った量
⑦ 自ら中間処理により減量した量
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
⑩ 全処理委託量
1,245.66t④のうち中間処理した量
⑥ 自ら中間処理した後の残さ量
④のうち熱回収を行った量
⑤④のうち中間処理により減量した量
⑦自ら中間処理した後の残さ量
⑨直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩ 1,245.66t

⑪ のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫ 1,245.66t

⑪ のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑬

⑪ のうち熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭

⑪ のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑮

(第2回)

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理した後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。